



加古川市立神吉中学校

校外学習特集号

学校だより

校長室より

1年生「校外学習」を実施しました！

天候にも恵まれ、1年生が楽しみにしていた「校外学習」を、6月5日（水）に実施しました。この校外学習の目的は2つあり、1つ目は、SDGsについて学び、社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、将来に向けて行動する態度を育てること、2つ目は、本格的な交響楽団の演奏に親しむことにより、音楽を愛好する心豊かな感性、創造力を育むことです。

午前の「KOBE SDGs 探究プログラム」では、5つのコースに分かれ、神戸の企業が実際に行っている、社会課題や環境問題を解決するためのSDGsの取組を学びました。

また午後は、兵庫県立芸術文化センターで「わくわくオーケストラ教室」による管弦楽団の生演奏を鑑賞し、ホールでの空気の「振動」や音の「響き」など、オーケストラが創り出す音をたっぴりと味わいました。

保護者のみなさまに、校外学習の様子をお知らせします。

KOBE SDGs 探究プログラム

<神戸どうぶつ王国>

「神戸どうぶつ王国」では、生物多様性保全や環境保全の取組を学び、動物たちの未来のためにできることについて考えました。絶滅危惧種を守る取組や、生息環境を守る取組、保全活動の取組、種の保存など、神戸どうぶつ王国が実践しているSDGsの取組について学びました。そして、SDGsの取組を理解した上で園内を見学しました。



＜ヴィッセル神戸＞

「ノエビアスタジアム神戸」は、日本で初めてハイブリッド芝を導入したスタジアムで、芝生を良い状態に保つための工夫がなされています。スタジアムでは、Ｊリーグの試合をはじめ、大きな国際大会も開催されます。試合時はメディア関係者のみ入室できる記者会見室で、記者気分を体験させていただきました。また、スタジアムは防災拠点として指定されており、今後想定される南海トラフ地震など、大規模な災害に備えて防災倉庫内に備蓄されている２万人分の災害備蓄品を見学しました。



＜国際くらしの医療館＞

「すべての人に健康と福祉を」をテーマに、「国際くらしの博物館」では、手術台やICUの病室を見学したり、実際に内視鏡の器具に触れたりしました。また、主に歯髄関連事業、8K映像事業、周術期医療事業、医療関連サービス事業などについて解説いただきました。



＜神戸クルーザー＞

神戸港150年の歴史は水質汚染との闘いでもあり、さまざまな取組によって現在のきれいな海になっています。精米の際に出てくる非食用の碎米で作られた「米ストロー」の使用等、「神戸クルーザー」が実践されている「循環型SDGs」について学び、海の環境問題と向き合いました。



＜兵庫ダイハツ販売＞

交通手段にお困りの方が多いエリアにおいて、移動手段の提供により外出機会を増やすことで、健康維持・増進を図ることを目的としたサービス（チョイソコ）など、「兵庫ダイハツ」が実践されているSDGsの取組について学び、過疎化や高齢化、災害対応など、地域の課題と向き合いました。



探究プログラム終了後は、バスで「なぎさ公園」に移動し、神戸の海を眺めながらクラスの仲間と一緒に弁当を食べました。



わくわくオーケストラ教室

午後は、阪神・淡路大震災からの復興のシンボルとしてオープンした「兵庫県立芸術文化センター」で、「わくわくオーケストラ教室」を鑑賞しました。あたたかみのある木で作られたホールは、「音」をどんなふうに響かせるか、「照明」がどんな効

果を与えるかなど、音楽をいちばんよい状態で楽しんでもらえるように細かな配慮がなされています。

「わくわくオーケストラ教室」では、劇場専属のオーケストラである「兵庫県立芸術文化センター管弦楽団」の演奏を鑑賞しました。はじめに、弦楽器や木管楽器、金管楽器、打楽器について、それぞれの楽器の音色などの紹介がありました。

また、「水上の音楽」「スペイン奇想曲」「モルダウ」などの演奏を聴かせていただきました。演奏中は、モニターで「曲に込められたストーリー」が紹介されており、生徒たちは、ストーリーを想像しながら演奏を聴きました。最後には、オーケストラの演奏とともに、一緒に鑑賞した加古川中学校、氷丘中学校、荒井中学校、苦楽園中学校と「ふるさと」を合唱しました。アンコールにより演奏してもらった「ラデツキー行進曲」では、曲に合わせて手拍子を送りながら聴きました。生のオーケストラ演奏に触れ、生徒たちは音楽の魅力を体感しました。

